



子どもの感染症

津南町立保育園

子どもにとって体調が悪い時の無理な登園は大きな負担です。また、保育園は集団の場であり、病気を友達にうつしてしまう可能性もあります。「このくらいなら」と油断せず、登園を控えるべき症状をしっかりとっておくことが大切です。



1 登園を控えてほしい症状

- 朝から 37.5℃以上の熱がある。
- 24 時間以内に 38℃以上の熱が出た。
- 24 時間以内に解熱剤を使用した。

発熱

- 24 時間以内に嘔吐があった。
- 食欲がなく、水分もとりたがらない。

嘔吐

下痢

- 24 時間以内に下痢があった。
- 食事や水分をとると下痢をする。

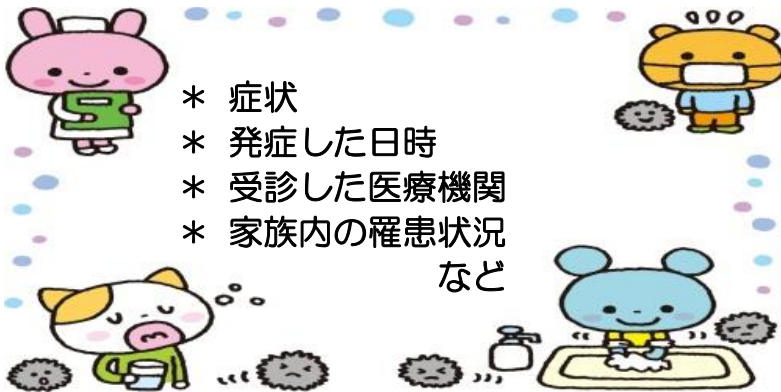
咳

- 夜、咳をして目が覚めてしまう。
- 少し動いただけで咳が出る。
- 呼吸をするとゼイゼイ、ヒューヒューという音がする。

鼻水

- 量が多く、ずっと出ている。
- 色がついている。
- 呼吸が苦しい。

【欠席連絡時や受診後に、以下の情報をお知らせください】



- * 症状
- * 発症した日時
- * 受診した医療機関
- * 家族内の罹患状況など

感染拡大防止のため、家族が感染症を発症した場合も、園にお知らせください。

- ※ 特に**発熱・下痢・嘔吐**の場合は、より詳細にお伺いします。
- ※ 完治し登園する際は、お子さんの様子をお伝えください。（園から連絡する場合があります。）
- ※ 感染症が発生した場合は、メールや掲示板でお知らせします。
- ※ 感染拡大防止のため、臨時に保育園の全部または一部を休園することがあります。

2 感染症の種類 (登園許可証明書・療養解除届が必要な病気)

登園許可証明書、療養解除届は、各保育園にあります。(右のQRコードからも読み取れます)



	病名	症状	潜伏期間	登園基準
1	インフルエンザ	高熱、倦怠感、関節痛、筋肉痛、喉の痛み、鼻水、咳	1~4日	発症日を除く5日を経過、かつ解熱後3日経過するまで
2	新型コロナウイルス	発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、消化器症状、鼻汁、味覚や臭覚異常	約5日間	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること
3	感染性胃腸炎 ・ノロウイルス ・ロタウイルス	嘔吐、下痢、発熱	1~3日	症状が治まるまで (・普通便にもどる ・食欲がもどる)
4	みずぼうそう	全身に発疹(頭部・口内等も)	14~16日	全ての発疹がかさぶたになるまで
5	ヒトメタニューモウイルス感染症	咳、高熱、鼻水、ゼイゼイ(ヒューヒュー)という呼吸	3~6日	咳などの症状が安定した後、全身状態が良くなるまで
6	RSウイルス感染症	咳、発熱、鼻水、呼吸困難	4~6日	呼吸器症状がなくなり、全身状態が良くなるまで
7	風疹	発熱、発疹(3日間で治癒)	16~18日	解熱し、発疹がなくなるまで
8	溶連菌感染症	発熱、喉の痛み、嘔吐、発疹	2~5日	抗菌薬の内服後、24~48時間経過していること
9	マイコプラズマ肺炎	乾いた咳、発熱、頭痛	14~21日	発熱や激しい咳が治まるまで
10	ヘルパンギーナ	高熱、喉の痛み(口の中に水疱)	3~6日	解熱後、普段の食事ができるまで
11	百日咳	発作性の咳が長期に続く、夜間に咳をする、連続して咳が出る	7~10日	特有の咳が消失するまで、または5日間の抗菌薬の治療が終了するまで
12	おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	発熱、耳の下や顎の下が腫れる (片方又は両方どちらも腫れる)	16~18日	腫れが発現してから5日間経過し、かつ全身状態が良好になっていること
13	咽頭結膜熱 (プール熱)	高熱、強い喉の痛み、頭痛、腹痛、吐き気、下痢、目の充血	2~14日	主な症状がなくなってから2日経過するまで
14	はしか(麻疹)	①2~3日は発熱、咳、鼻水、目やに ②一旦解熱し再高熱、全身に発疹	8~12日	解熱後、3日を経過するまで
15	流行性角結膜炎 (はやり目)	目の充血、目やに、目に膜が張る	2~14日	充血がなく、症状が治まってから
16	急性出血性結膜炎	強い目の痛み、結膜の充血	1~2日	医師から登園して良いと認められてから
17	手足口病	発熱、喉の痛み、水疱(手足の裏、お尻、膝、口の中)	3~6日	熱がなく、普段の食事ができるようになってから
18	とびひ (伝染性膿痂疹)	すり傷や虫刺されに化膿菌が入り、水膨れができる、掻くととびひする	2~10日	外用薬で処置、とびひ部分をガーゼ等で覆い、触れないようにする
19	突発性発疹	突然高熱が続いた後、全身に発疹	9~10日	解熱し、機嫌が良く、全身状態が良くなってから
20	りんご病	両頬に紅斑と熱感、四肢に発疹ができることもある	4~14日	元気が良ければ登園可能

色つきの病気は登園許可証明書不要です。

3 感染症の予防（生活面、消毒など）

☆抵抗力をつけましょう

⇒ 早寝、早起きをし、朝ごはんをしっかり食べ、疲れたらゆっくり休みましょう。
規則正しい生活リズムが大切です。

☆手洗いを丁寧にいきましょう

⇒ 保育園では「ちゅーりっぷ」の歌に合わせて、洗い残しのないように丁寧にしています。



☆毎日の検温・健康観察を行きましょう

⇒ お子さんの体調の変化に早めに気づきましょう。
「いつもと様子が違う」「機嫌が悪い」時は、体調を崩している場合があります。

☆換気をこまめに行いましょう

⇒ 風が通るように換気をすることが大切です。
（対角線上のドアや窓を2か所以上開放します。）



☆有効な消毒方法は？

新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ ⇒

- ・消毒用アルコール
- ・次亜塩素酸ナトリウム
（家庭用塩素系漂白剤）

感染性胃腸炎（ノロウイルス・ロタウイルス） ⇒

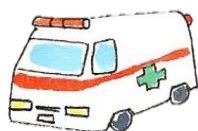
- ・次亜塩素酸ナトリウム
（家庭用塩素系漂白剤）

*次亜塩素酸ナトリウム希釈液（消毒液）の作り方は、次ページに書いてあります。

4 受診と救急搬送の目安

【こんな時はかかりつけ医に電話、受診】

- ・嘔吐と下痢を何度も繰り返す。
- ・高い発熱をしている（38℃以上）。
- ・吐いた物に緑色の胆汁や血が混ざる。
- ・水分をとることができない。



【こんな時は、すぐ救急車を!!】

- ・ぐったりし、意識がもうろうとしている。
- ・けいれんを起こしている。

受診の判断に迷ったら…

小児救急医療電話相談

#8000 または

025-288-2525

相談時間：毎日 19時 ~ 翌朝 8時

5 嘔吐への対応

吐いた物には、感染症の原因となる細菌やウイルスが含まれていることがあります。家庭内での感染拡大を防ぐために「素早く、丁寧に、正しい手順」で行いましょう。

【用意しておく物】（すぐ使えるよう、バケツにまとめておく）

- ・マスク ・ポリ袋 ・使い捨てエプロン ・使い捨て手袋 ・使い捨ての布や不用タオル
- ・次亜塩素酸ナトリウム（家庭で使っているハイター・塩素系漂白剤など）

【次亜塩素酸ナトリウム希釈液（消毒液）の作り方】

「ペットボトル1本分の水（500ml）」に対して、「塩素系漂白剤をペットボトルのキャップに2杯」を混ぜます。

- ① 手袋・マスク・エプロンを着け、使い捨てタオルなどで吐物を覆う。覆ったタオルなどで吐物を拭き取り、ポリ袋に入れて密閉する。



身支度はしっかりする！

- ② 吐物の付いた場所に使い捨てタオルなどを敷き、消毒液をかけて10分間放置する。（この間に換気すると良い）



よく拭き取る！

- ③ その後、放置したタオルなどをポリ袋へ入れ、別のタオルを消毒液に浸し、床を数回拭く。拭き取ったタオルなどもポリ袋に入れて密閉する。

- ④ 処理に使ったマスク・手袋・エプロンを、ポリ袋に入れ、密閉して捨てる。最後にせっけんで、30秒以上しっかり手を洗い、うがいをする。

※処理中は、室内に人が出入りしないようにしましょう。
※畳や布団など洗えない物は、アイロンのスチームで1分以上加熱消毒してください。
※処理したあとは、早めに着替えましょう。



【保育園で嘔吐や下痢をしたとき】

- * 吐物や便の付いた衣服や布団などは消毒や洗濯をせず、そのまま袋に入れ、密閉してお返しします。ご家庭での処理の際は、十分注意してください。
- * 他児の吐物が着いた物については、園で消毒及び洗濯をしてお返しします。その際に、色落ちする可能性がありますのでご了承ください。